

□ トピック □ 真っ赤なダニ

アスファルトやコンクリート上に、1mmほどのせかせか動く真っ赤な粒を見たことはないでしょうか？よく見てみると、足が8本あることから、ダニの仲間(幼虫の足は6本でありダニは蜘蛛の仲間)で「カベアナタカラダニ」(以後タカラダニと呼ぶ)と言います。

真っ赤なので、一見吸血し体が赤くなっているのではないかと不安になるかもしれませんが、しかし、タカラダニのエサは植物の花粉や小昆虫であり、吸血はしません。つぶすと赤色の体液が出るため、それが服や体等に付着し、人間の血液と見間違えられることがあります。このように、見た目の気味悪さ、汚れの原因になり不快害虫とされています。

タカラダニの成虫は、5月中旬から7月いっぱいにかけて一斉に見られます。すばしこく動き、積極的に移動分散するため、様々なところで見かけることができます。屋内に迷い込んだり、ベランダ等で発生し洗濯物や日干している布団、ズボンの裾や靴等に付着し、屋内に侵入することもあります。

会社周辺を、観察してみると、今の時期では、探す必要もないくらいすぐに発見することができます。天気の良い日では熱い場所(鉄板の上など)、また、餌を求めて植物の周辺や吹きだまりのような隅に集まっています。観察してみればいかがでしょう？



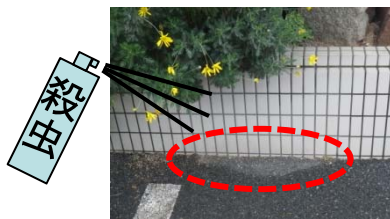
花粉を捕食するカベアナタカラダニ
(*Balautium murorum*)

名前の由来

「カベアナ」: 壁に穴をあけるわけではなく体の一部が凹んで穴があるように見えるため

「タカラ」: 蟬などのカメシの仲間に付着し、赤く目立ち、その姿が宝を抱えているように見えるため

□ お知らせ □ タカラダニの駆除

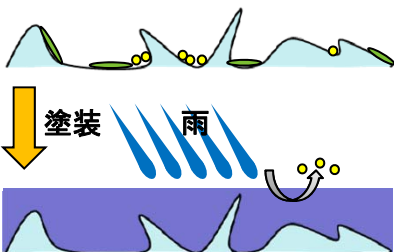


タカラダニは、建屋やその近辺で大発生し、大量侵入してくる事も多くあります。加えて、混入原因や色素の付着等を理由に食品工場や医療品工場では特に嫌われます。さて、タカラダニの駆除はどうしたらいいのでしょうか？

1つ目として、タカラダニは、天気の良い晴れた日にはコンクリートやアスファルトの上、特に、より熱い場所(鉄板の上など)に、雨の日は、雨水が当たらない隙間などに集まる習性があります。そのため、より集中している雨の日に、潜んでいる隙間や陰等を殺虫処理することで、個体数を減らすことができます。

2つ目として、タカラダニの産卵場所は、通水性の舗装歩道や縁石などでは少なく、壁のコンクリートの亀裂などの水の流れが少ない場所に多く発見することができます。そのため、こういった隙間を充填剤で埋めることで、次世代の発生を抑えることができる可能性があります。

3つ目として、屋上等の大量発生の原因は、床の凹凸や地衣類などの隙間に餌がせき止められ、主要な餌が存在することだと考えられます。床を塗装、洗浄することで花粉や小動物等の餌や潜む場所をなくすることができます。被害にお困りの方、また、被害が出る前に対策してみようかなとお考えの方、一度ご連絡ください。



□ 豆知識 □ アジサイ(紫陽花)の花の形

この梅雨時に、雨の中、鮮やかに咲く花と言えばアジサイではないでしょうか？赤、青、紫と様々な色彩、小さな花が集まりぼんぼりのように見える大きな花、テレビや道端などで見かけると思います。このアジサイの長い旅のお話です。

このよく見かけるアジサイは、もともと、どこの植物なのでしょう？アジサイは日本固有の植物なのです。しかし、皆さんがよくご覧になるアジサイはヨーロッパで品種改良された「西洋アジサイ」が多いのではないかと思います。日本固有の種は「ガクアジサイ」と呼ばれます。これが、18世紀にヨーロッパに渡り、品種改良され、「ホンアジサイ」ができました。この「西洋アジサイ」が日本に逆輸入され、日本の庭木として一般に広まり、今日に至っています。古来より数々の歌に詠まれてるアジサイですが、その当時のアジサイは、今とは違ったのではないのでしょうか？



ガクアジサイ

全体の形は平たく、周囲に大きな装飾花(本当は萼)、中心におしべやめしべといった本当の花を咲かせます。



ホンアジサイ

全体の形が、テマリ型で装飾花の集まりであり、本当の花は、花を裏返してみると、装飾花の影にひっそりと咲いています。



総合衛生コンサルタント・生物害防除

東洋産業株式会社

URL: <http://www.to-yo-s.co.jp>

本社: 岡山県岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL(086)241-8080 FAX(086)241-8094

拠点: 大阪, 姫路, 岡山, 倉敷, 福山, 広島, 高松, 松山

関東(市川)